

第26回ヒロシマ現地学習行動開催!



青年部の第26回ヒロシマ現地学習行動は帰路に就く3日目は、原爆ドームに近い広島市青少年センターにて被爆2世である山岡美和子様(写真：組合旗)から講演をいただきました。講演では、核兵器の脅威や原爆投下自体がアメリカによる核実験(①爆風による脅威②核爆弾が人体に与える影響と殺傷能力の調査)であった事などが話されました。参加者からは「戦争の無い平和な社会を作り出さなければならない事が私たち戦争を知らない世代がバトンを持って、次の世代に繋ぐ事が使命だと感じた」と感想が出されました。

労働組合は会社だけを見るのではなく、今の働く世界がどう創られて、そしてどの様に創っていくのかを考えていかなければなりません。

参加者の皆さんお疲れ様でした!!

広島に原爆を投下したB29の愛称エノラ・ゲイとは、機長の母親の名前です。原爆投下を機長の母親は当時喜んでいました。

次の世代が安心して働ける社会を創りだそう!